

Ⅲ. 試験検査・調査研究の概要

1. 牛海綿状脳症（BSE）に係る検査

24 ヶ月齢以上で神経症状が疑われる牛について BSE スクリーニング検査を実施した。
(頭)

検査頭数	陽 性	疑陽性	陰 性
21	0	0	21

2. 保留獣畜に係る検査

【保留獣畜に係る精密検査の検体数】

検査部門	検査理由	検査頭数	検体数	検査件数
理化学	疑尿毒症	10	17	37
	疑高度の黄疸	3	3	7
病理	疑牛白血病	16	246	297
微生物	疑敗血症	6	72	144

3. 獣畜(保留獣畜を除く)に係る検査

(1) 微生物検査部門

事業内容	検査項目	実績検体数
と畜場における細菌汚染実態調査	一般生菌数、大腸菌群数	96
食鳥処理場における細菌汚染実態調査	一般生菌数、大腸菌群数、 大腸菌数、カンピロバクター、 サルモネラ	122
と畜場における微生物制御のモニタリング	腸管出血性大腸菌 0157、 サルモネラ、ATP	122

(2) 病理検査部門

臓器に炎症像、変性像等が認められたものについて病理組織学的検査を行った。

事業内容	動物種	検査頭数	検査件数※
と畜検査における疾病診断にかかる病理検査	牛	14	36
	豚	1	1
	計	15	37

※検査に供した臓器等の数

(3) 理化学検査部門

事業内容	動物種	検査頭数	検査件数	検査結果
残留動物用医薬品検査	牛	13	39	不検出
	豚	13	39	不検出
	鶏	8	8	不検出
グリア線維性酸性タンパク(中枢神経系組織の細胞マーカー)残留量調査	牛	40	80	不検出

(注：不検出は定量限界値未満を示す。)

4. 食の安全性確保のための調査研究事業

食の安全性確保のために残留抗菌性物質のスクリーニングテスト用簡易キット(プレミテスト)を用いて調査・研究を行った。

事業内容	動物種	検査頭数	検査件数	陽性件数
残留抗菌性物質検査(プレミテスト)	牛	34	68	10